

# FD 推進委員会主催

## 第9回FDフォーラム

12月7日に大学531講義室でFD推進委員会主催の第9回FDフォーラムが開催され、南山大学総合政策学部総合政策学科教授の宇田光氏による講演が行われた。「私語撲滅への挑戦—当日ブリーフレ

ポート方式 (BRD) による講義改革」という刺激的なテーマということもあってか、参加者は90人を超えた。

宇田氏の提案は、従来の講義に代えて、学生によるレポート執筆を授業の中心に据えるという画期的なものである。BRD方式では、授業は、①今日のテーマを確かめる「確認」の時間 (5分)、②教科書などを参照して内容について考える「構想」の時間 (20分)、③教員の説明を聞く「情報収集」の時間 (40分)、そして④実際にレポートを書く「執筆」の時間 (25分) の4つの部分で構成され、学生は、与えられたテーマについて授業内にレポートを完成させることを要求される。宇田氏によれば、この方式を用いることによって、学生の集中度が増し、私語は劇的に減るとのことである。また、受講生に対して行ったアンケートの結果を見ても多くはBRD方式に好意的であり、通常の講義との比較という点では、実に7割以上の受講生が、BRD方式を支持したとのことであった。

